

花 4月～5月

ムラサキ科

ホタルカズラ

花の中心を彩る白い筋状の模様

日本各地の日当たりのよい乾いた草地に自生する。

草丈は15～25cmで、茎は細く、全体にまばらに毛が生えている。葉は長さ2～6cmの狭長楕円形で、濃い緑色で、表面には剛毛がある。

花は直径1.5～1.8cmで青紫で、先は5つに裂ける。裂片の中央には、白い隆起線が見られ、これは基部まで続く。雄しべの花糸には多くの腺点がある。

花が枯れた後、茎の基部近くから長い走出枝を伸ばし、翌年発根して新しい苗となる。



花 4月

キンボウゲ科

ミスミスソウ

中部地方以西から九州北部に至る落葉広葉樹林の林床に自生。草丈10～15cmで、3列した葉の先はややとがり、若い時期には葉や茎に白くて長い毛がある。花は、直径1～1.5cmで春に咲く。色は白のほか、淡い桃や紫になるものもある。



花 4月

ゴマノハグサ科

オオイヌノフグイ

早春に藤青色の花を咲かせる

道ばたや畑などで非常によく見られるヨーロッパ原産の帰化植物。藤青色の鮮やか花をつけるおなじみの野草は、江戸時代中期の『物品識名』や『草木図説』に既に登場する。茎は分かれ、横に広がり、長い毛がある。茎は長さ10～25cm。葉は卵円形で、茎の下方で対生し、上部で互生する。

